

ALEJANDRO ARAVENA

Pritzker Prize 2016

LONDON
SPEAKER
BUREAU



Topics

- Creativity
- Environment
- Innovation

Alejandro Aravena は、1992 年にチリのカトリカ大学の建築学科を卒業しました。1991 年、まだ学生でしたが、第 5 回ヴェネツィア ビエンナーレ国際建築展のヴェネツィア賞に参加しました。1993 年に彼は IUAV で歴史と理論を学び、アカデミア ディ ベッレ アルティ ディ ベネチアで彫刻を学びました。

1994 年に Alejandro Aravena Architects を設立。2000 年から 2005 年までハーバード大学の教授を務め、ELEMENTAL の設立への道が開かれました。

ELEMENTAL は 2001 年に設立された Do Tank で、Alejandro Aravena が率い、Gonzalo Arteaga、Juan Cerda、Victor Oddó、Diego Torres によって構成されています。このスタジオは、住宅、公共スペース、インフラストラクチャ、輸送など、公共の利益と社会的影響のプロジェクトに取り組んでいます。

アレハンドロ・アラベナは、プリツカー賞審査員 (2009-2015) のメンバーでした。RIBA 名誉国際フェロー (2009 年) および LSE の都市プログラムの理事 (2011 年) に任命されました。また、デビッドロックフェラーラテンアメリカ研究センターの地域諮問委員会のメンバーでもあります。スイス ホルシム財団の理事。チリ公共政策協会の基本メンバー。彼は、SITRA (フィンランド政府イノベーション基金) のヘルシンキ デザイン ラボを率いて、カーボン ニュートラルに向けた国家戦略を策定しました。

彼は、2012 年のリオ +20 グローバル サミットに貢献した 100 人のパーソナリティの 1 人であり、ニューヨーク国連本部でのプリツカー賞受賞者の会話: 構築された環境に向けた挑戦 (2016) や TED グローバル会議など、世界中の会議に参加しました。リオデジャネイロでの講演: 私の建築哲学? コミュニティをプロセスに参加させる (2014)。

Los Hechos de la Arquitectura (Architectural Facts、サンティアゴ、1999 年)、El Lugar de la Arquitectura (The Place in/of Architecture、サンティアゴ、2002 年) および Material de Arquitectura (Architecture Matters、サンティアゴ、2003 年) の著者であり、Electa はモノグラフィーを発行しました。アレハンドロ・アラベナ; progettare e costruire (ミラノ、2007 年) と Toto は Alejandro Aravena を出版しました。Forces in Architecture (東京、2011)。2011年、エレメンタル Hatje-Cantz による Incremental Housing and Participatory Design Manual、2018 年には Phaidon によるモノグラフ ELEMENTAL。

Elemental の作品は、2010 年の MoMA (Small Scale, Big Change) からヴェネツィア建築ビエンナーレ (2008, 2012, 2018) まで、さまざまな会場で展示されてきました。実際、2016 年に第 15 回ヴェネツィア ビエンナーレをキュレーションしました。2018 年 10 月には、デンマークのルイジアナ美術館で個展が開かれました。Elemental の作品は、ポンピドゥーセンターのパーマネントコレクションの一部でもあります。

Elemental の作品は、2008 年のベネチア ビエンナーレでのシルバー ライオン、2011 年のコペンハーゲンでのインデックス アワード、2015 年のロンドンでのアンジェリーニ イノベーションセンターのデザイン オブ ザ イヤー、2017

年の持続可能性に対するヨーテボリ賞など、多くの賞を通じて認められています (建築家としては初受賞)。2016年、アレハンドロ・アラベナはプリツカー賞を受賞しました。

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988